

雷雷抱雷雷 / らいらいほうらいらい / RaiRaiHouRaiRai

展覧会名称	雷雷抱雷雷 / らいらいほうらいらい / RaiRaiHouRaiRai
会期	2014年2月22日(土) ~ 3月9日(日)
開館時間	11:00 ~ 19:00 (最終入場 18:45 まで)
休館日	月曜日 (祝日の場合は開館、翌火曜休館)
会場	京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA 2
主催	京都市立芸術大学
観覧料	無料
URL	http://www.kcua.ac.jp/gallery/
お問い合わせ	ギャラリー @KCUA 075-253-1509

このたび、京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA では、清田泰寛の個展「雷雷抱雷雷」を開催致します。

清田泰寛は、京都市立芸術大学美術研究科絵画専攻油画を修了後、シェアスタジオ「むこうスタジオ」を立ち上げ、2度のオープンスタジオの開催や KYOTO STUDIO (ギャラリー@KCUA)、暗黙知 (超京都2013内の特別展示) 等のグループ展に出演するなど活躍の目覚ましい若手作家です。

これまで清田は、言葉とイメージが密接に結びついた作品を生み出そうと試行しながら半立体の絵画作品をつくり、発表を続けてきました。自身でも5年ぶりとなる今回の個展では、まるで部首を集めて漢字を作るかのように、独自のルールに則って言葉や図像、さらには木枠やキャンバス等の基底材を組み合わせ、新たな表現を生み出そうと試みています。

この度の展覧作品では、清田が近年取り組んでいるキャンバス布を立体的フォルムに張り込むシリーズがあります。本来はただの綿布であり支持体であるキャンバスが、清田の考える言葉やイメージのルールに従って組まれた木枠の凹凸を覆って張り込まれることによって、独特な曲面を表しながら新たなフォルムとなります。さらにそこにアクリル絵具による色彩、図像が合わさり、ひとつの作品として集約されていきます。

今回の展覧会名「雷雷抱雷雷」とは、言葉を選び、組み合わせることが清田の創作行為の要であるということを受け、展覧作品の中で材料として用いられた言葉を直接的につなぎ合わせたものを展覧会名にしようと考えられた造語です。日々活動を受け、表現を模索する作者の姿勢を垣間見ることが出来る展覧会です。是非、多く皆様にご覧頂けますようお願い申し上げます。

